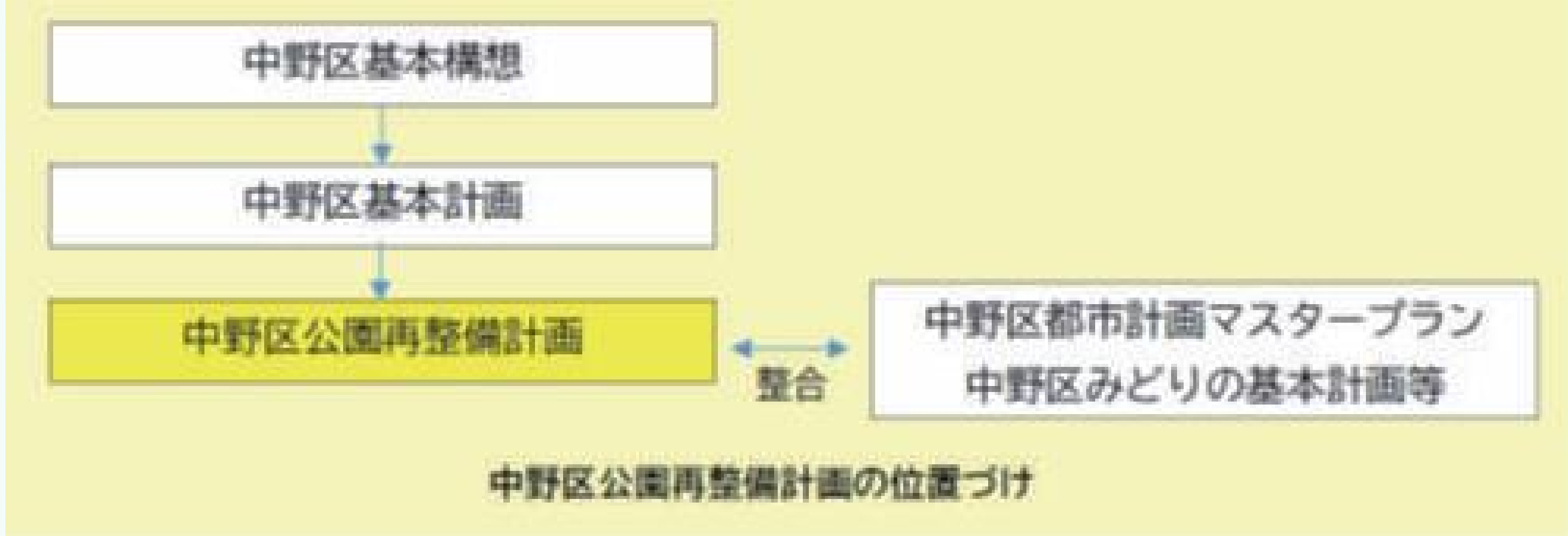


中野区公園再整備計画について

中野区では、「中野区都市計画マスタープラン」や「中野区の基本計画」等に基づき、公園の整備や維持・管理を行ってきたが、公園利用者の利用形態やライフスタイル等の変化に合わせ、公園に求められる機能・役割を把握し、公園管理に活かすため、また、時代やニーズの変化に対応し、あらゆる世代が利用しやすい公園環境づくりを推進するため、中野区の地域の特性を踏まえた公園の機能・役割・利活用等について、中野区公園再整備計画を取りまとめています。



公園施設の改修・配置について

○前提条件（上位計画との整合）
●「中野区都市計画マスタープラン」と同様に都市整備課題の同質性に着目した 7 つの地域区分としています。

●都市基盤の一つである公園整備については、「中野区都市計画マスタープラン」や「中野区みどりの基本計画」の地域ごとの方針との整合を図りながら、地域区分単位で公園づくりを計画的に考えていきます。

●地域区分単位の公園づくりでは、地域の中心的な役割を担う「核となる公園（中規模公園）」とその周辺公園を一体と考え、地域区分単位で取り組むことにより、各地域に不足している機能が解消されるだけでなく、利用者へのサービスを合理的に提供することができると考えています。
※図は、考え方のイメージ。



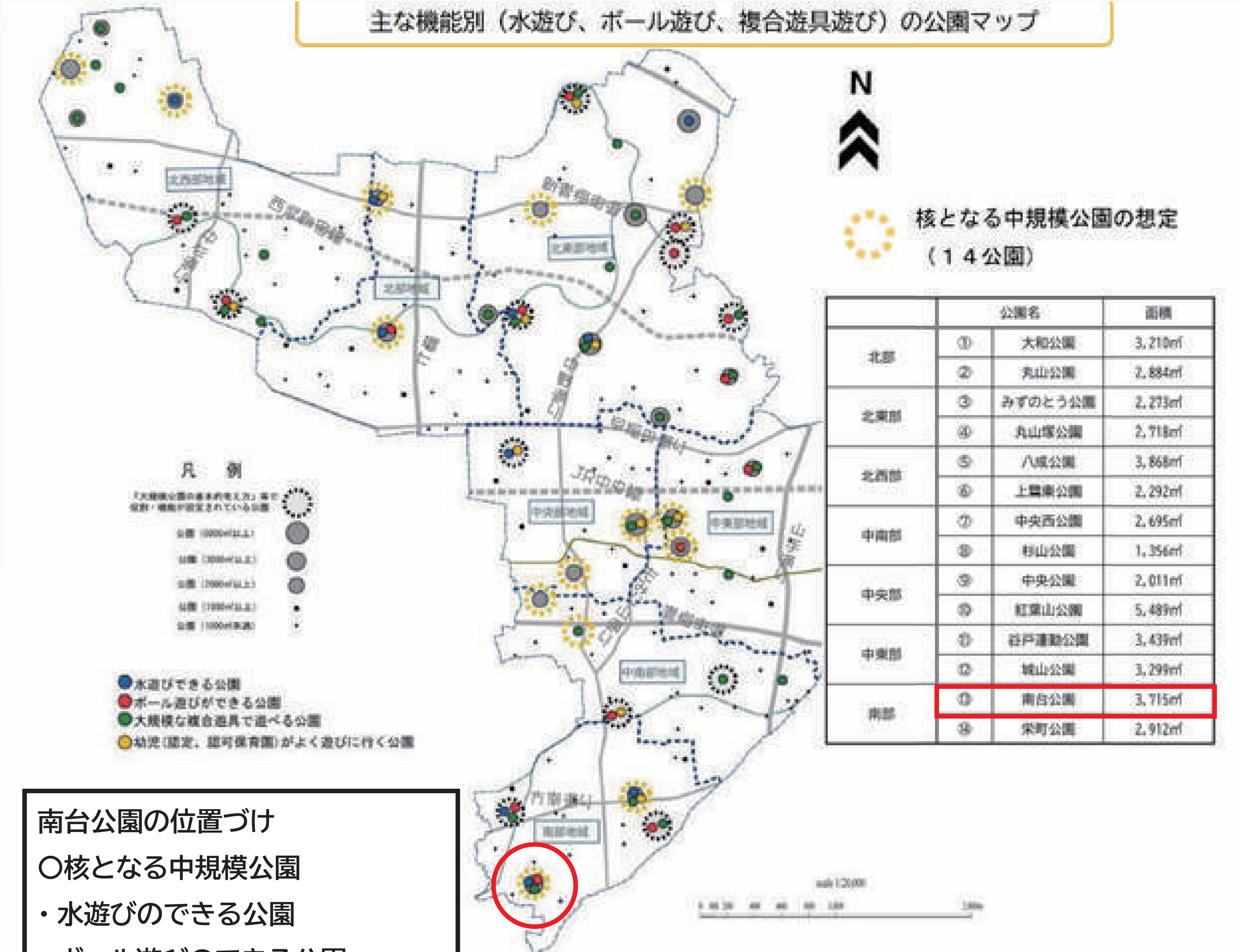
取り組み方針

●子育てニーズに対応した遊具や、空間に適した遊具の配置等をすすめるともに。ユニバーサルデザインに配慮し、多世代のニーズに対応した機能の配置を検討します。

●トイレの老朽化や利用頻度等の状況を踏まえて、洋式化やバリアフリー化を含む親子連れに配慮したトイレへの整備を順次進めていきます。

施設の配置・改修の主な取り組み（共通事項）
●地域区分単位の中において、利用実態を踏まえて、ゆとりある空間確保に努めるため、施設再配置が必要と判断した場合、従前にあった機能を同じ誘致圏内の小規模公園などへ代替が可能かを検討します。
●みどりのうるおいが感じられるとともに、人々のくつろぎや、地域交流の場として活用される空間を確保します。

（中南部地域）
●水遊びができる公園がないため、機能を確保します。



南台公園の位置づけ
○核となる中規模公園
・水遊びのできる公園
・ボール遊びのできる公園
・大規模な複合遊具で遊べる公園